

金沢市立高岡中学校 3年「金沢ふるさと学習」

①金沢の人口推移を分析

若者の都市圏への流出が多いこと、都市圏からの移住者が少ないことを理解

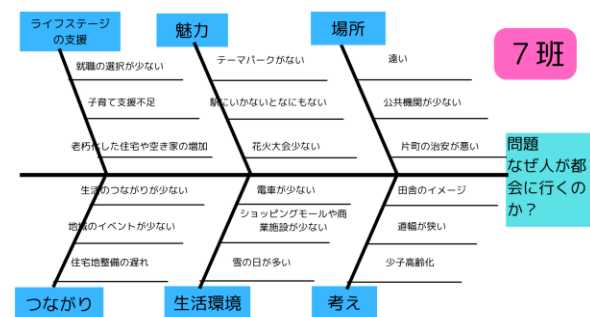
→観光客が増加する一方で、住民にとっての魅力が低下していることに気がつく。

住み続けたい金沢
を目指しての企画作りを開始！



②人口推移の原因を分析

- ・自分たちの経験+公的な情報を集めて分析
- ・6つの視点から原因を考えた。



③課題を設定し、実践事例を調べる

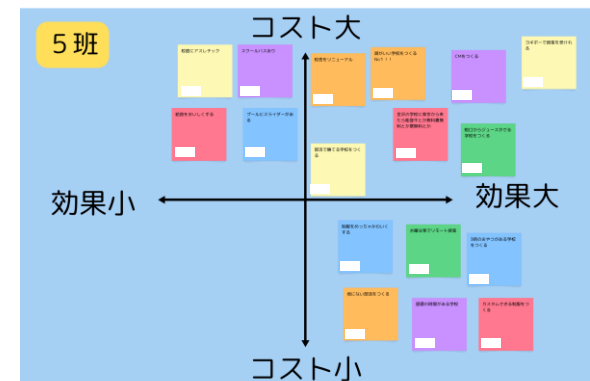
- ・分析した原因から、重点的に対処したいものを班で1つ選び、課題とした。
- ・金沢や、ほかの地域では、似たような課題にどのように対処しているのか、事例を集めた。

1班 課題：（県外の若い世代の人）が（金沢へ移住したいと思える）ように（娯楽施設が少ないという原因に対処）する！

取り組んでいる人や団体名	取り組み内容	成果やさらなる課題（あれば）
日本ハム	エスコンフィールドを建てて、街全体を活性化させる、『共同創造都市』をコンセプトにし、地域経済の発展や市民満足度の向上を目指す。地域を巻き込んだ「ポルパーク」として、様々な娯楽施設や交流を創出することで、街全体の活性化を目指している	その結果2024年に418万人の来場者と36億円の営業利益を達成し、野球観戦者以外でも211万人を達成した。経済効果は、北広島市で年間約500億円、北海道全体で1,000億円を超える推計が出ている。また、球場の外野奥の大型ガラス壁が、スタジアムにおける最大の連続したガラスファサードとして認定された。
特定非営利活動法人こおりやま子ども若者ネットワーク	10～20代の若者が自由に過ごせる拠点を、若者自身が物件探しから、DIYで作り上げている。音楽室や、カフェスペースなどを備え、若者が主体的に活動できる場所を提供している	課題1 運営資金、不登校、ひきこもりなどに対処するための体制

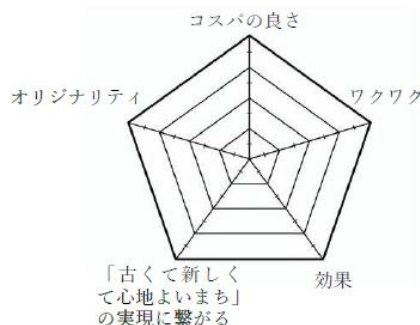
④課題解決のためのアイデア

- ・他地域の実践事例をヒントに、様々なアイデアを出した。
- ・コストと効果の大きさにアイデアを分類した。



⑤アイデアの実現可能性を分析

- ・アイデアを絞り、5つの視点から、そのアイデアの実現可能性を分析。
- ・「おもしろそう」だけでは金沢らしさの低下にも繋がることから、金沢ミライシナリオの「古くて新しくて心地よいまち」に繋がるかどうかひとつの視点とした。



⑥企画書の作成（別紙1）

⑦説明用スライドの準備（別紙2）